

授業科目(ナンバリング)	中国語ⅡB (AC204)			担当教員	※石 一含		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
中国語は中国だけでなく、シンガポールやマレーシアなどの国々でも幅広く使用されており、さらに近年中国のめざましい経済発展のため、アジアの世界だと言われている 21 世紀の現在、世界中に中国語の学習者が多くいる。中国語学習は大きな世界へ繋がるツールを手に入れることだと言えよう。本授業は「中国語ⅡA」に引き続き、中国語初級レベルの基礎知識・実用表現を確実に身につけ、中国語能力検定試験(HSK)2 級の取得にチャレンジすること、また中国・アジアへの理解を深めることを目標とする。							①②③ ⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語を用いた簡単な日常会話を行うことができる。</li> <li>中国語能力検定試験(HSK)2 級に合格できる。</li> </ul>				定期試験	10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。</li> <li>様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。</li> <li>多角度から情報を理解、分析、解釈することができる。</li> </ul>				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	中国語でコミュニケーションをとることができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>小テスト</li> </ul>	20% 15%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。</li> <li>中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。</li> </ul>				授業態度・授業への参加度	15%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。</li> <li>非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>課題レポート</li> </ul>	20% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の成績を 50%とし、筆記試験で既習した知識の習得状況を確認する。(教科書や資料などの持ち込み不可)</li> <li>課題レポートの成績を 20%とし、文法の正確さ及び内容の豊富さで評価する。(1 回、宿題として出す)</li> <li>小テストの成績を 15%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第 1 回目の授業を除く)</li> <li>授業態度及び授業への参加度の成績を 15%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。</li> </ul> ※ レポート、小テスト、口頭練習などに対するフィードバックを授業で行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料：教科書を主資料、パワーポイント(プリントの時もある)を補助資料として授業を行う。</li> <li>進め方：「復習&gt;単語&gt;文法解説・練習&gt;練習問題&gt;答疑&gt;次回の案内」の流れに従う。(変わる時もある)</li> <li>目標：①HSK2 級の基礎知識を習得する ②中国の社会文化について理解が深まる</li> <li>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。</li> </ul>							
教科書・参考書							
教科書：宮岸雄介(2016).『中国語検定 HSK 公認テキスト 2 級 改訂版』株式会社スプリックス。 参考書：杉野元子・黄漢青(2010).『大学生のための初級中国語 40 回』白帝社。 指定図書：宮岸雄介(2016).『中国語検定 HSK 公認テキスト 2 級 改訂版』株式会社スプリックス。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>予習と復習をすること(毎回授業後の復習をしっかりすれば、言語学習は楽になる)</li> <li>毎回の授業、必ず教科書と好奇心を持って積極的にご参加ください。</li> <li>教科書以外の資料も活用すること(例:映画、歌、NHK テレビ・ラジオ番組 など)</li> <li>毎日 10 分間でも中国語に触れてください。(例:寝る前に 5 つの単語を暗記する、30 分間発音練習をする)</li> </ul> ※中国語ⅡAを履修してから中国語ⅡBを履修してください。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	UNIT 3・4	数字表現	予習：教科書 pp. 32～35 教科書 pp. 42～45 復習：前期の内容
2	UNIT 5・6	数量の表現	予習：教科書 pp. 52～56 教科書 pp. 58～61 復習：時刻と時間、年月日
3	UNIT 7・8	中国語の前置詞・介詞	予習：教科書 pp. 66～71 教科書 pp. 76～79 復習：量詞の使い方
4	UNIT 9	能願動詞 1	予習：教科書 pp. 86～89 復習：介詞(場所、比較、対象、方向)
5	UNIT 10	能願動詞 2	予習：教科書 pp. 94～97 復習：能願動詞(可能)
6	UNIT 11	動詞述語文	予習：教科書 pp. 114～118 復習：能願動詞(願望、義務、確実性)
7	UNIT 12	副詞の使い方	予習：教科書 pp. 122～127 復習：動詞述語文の用法
8	UNIT 13	疑問文	予習：教科書 pp. 132～137 復習：副詞の語順と意味 ☆課題レポート
9	UNIT 14	完了のAspect「了」と語気助詞「了」	予習：教科書 pp. 154～159 復習：正反疑問文
10	UNIT 15	進行・持続のAspect	予習：教科書 pp. 166～171 復習：「了」の用法
11	UNIT 16	経験・将来のAspect	予習：教科書 pp. 176～179 復習：進行・持続のAspect
12	UNIT 17	禁止・使役の表現	予習：教科書 pp. 196～201 復習：経験・将来のAspect
13	UNIT 18	語気助詞	予習：教科書 pp. 208～211 復習：禁止・使役の表現
14	UNIT 19・20	補語・複文	予習：教科書 pp. 216～221 教科書 pp. 228～231 復習：語気助詞
15	まとめ	後期内容の復習(実践問題)； HSK2 級試験の概要と対策の説明	予習：実践問題 (PART 2・3・4・5) 復習：補語・複文
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備